

## まちづくり懇談会議事録

日 時：令和 3 年 10 月 26 日（火）18：30～19：52

場 所：総合福祉センター「しゃるる」 2階研修室A・B

出席者：9人

### 1. 開会

### 2. 町長挨拶

※配付資料確認および日程説明

### 3. 懇談

(1) 第7次総合計画の策定について（別紙1・2参照）

(2) 自由懇談

### 4. その他（情報提供）

(1) 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（別紙3参照）

### 5. 閉会

《懇談内容》

#### 【自由懇談】

町民：今まで継続している第6次総合計画が基本になって、第7次総合計画が作られていくと思うのです。その中で、やはり1番先にあげられているのは人口減少と関わりがある、いかに若者が定住して住みやすい栗山のまちづくりをしていくかということだと思うのです。今、お話を聞いて平成26年度と令和2年度ですか、その差がかなり縮まっているということで、朝日のところに新しい住宅ができています。住宅地が100坪単位ぐらいでつくられて、1件として同じ家がないぐらい形も色とりどりの住宅が次から次へと建って、近くを通るたびに栗山に人口が増えているなという感じがあの場所を見ただけです。それでももう少し詳しく教えていただきたい。どういう手立てをしたことで、あの土地に若者が住むようになっているのか。栗山町に魅力を感じて住むようになっているのか。一例でも二例でもいいですので具体的にお話しいただければ、どんなところが栗山町の売りになっていくのかがわかるかと思うので教えていただきたい。

若者定住推進課長：平成26年から若者の移住定住に向けた住宅関係の制度を作りまして、町外から若者が来た時に新築住宅の補助だとか中古住宅を取得した時の補助、リフォームの費用ですとか、民間のアパートに住んだ場合でも3年間家賃補助するというような制度を行っております。あと栗山移住促進協議会という外部団体なのですが、事務局を当課で行ってしまして。そちらの方で移住者の相談をやっております、実際にちょっと住んでみませんかということで暮らしの施設なども、民間の施設、町の施設もあるのですが、民間の施設もご協力いただいてちょっと住んでみて、実際に栗山を気に入ってもらって住んでもらおうというような政策を行っております。あとは今年始めたばかりな

のですけれど、道と国とかの補助も入っていますが、東京圏から来る人たちが町内に住んだ時に助成をするだとか、住宅のほかに奨学金の返済を若者が町内に来て、町民の方でも良かったのですけれども、町内で就職をする場合に学生時代に借りていた奨学金の補助をするというような制度も2年前から作りました。あと空き家対策です。今、相談もコロナの関係でかなり増えていきますので、移住相談の件数っていうのはすごく多いです。ただなかなか住宅のマッチングっていうのは難しい状況です。建設課とも連携して、街の中で空いている家を活用する助成制度、空き家の活用制度というのもございます。

町民：定住するためにはやっぱり働く場所がないと駄目です。そういう働く場というか雇用というか、そういう面でのアドバイスというようなことも行っているのですか。

若者定住推進課長：若者の場合は、住むところと働くところがないとこちらの方に引っ越して来れませんので、そういうお手伝いするところも連携をしてやっております。場合によっては、就職の相談にのったりということもあります。

町長：今、説明ありました通りかなり都会の方から、こういう地方で働くことも含めて希望される若い方が増えていまして、これから我々地方にとっては、チャンスを迎えるのではないかと思っています。ですからここで効果的な情報発信をもっともっていかねばならない。町民の皆さんが分からないようなことを行政がやっているということではなくて、我々もしっかり町民の皆さんにこの制度をお知らせして、町民の皆さんの力を借りて、栗山に引っ張ってくる。そのようなチャンスなので、そこはしっかりやってきたいなと思います。ただ、定住に結びつけていくことは難しいですけれども、先ほど、駅の交流施設で関係人口という話をしましたけれども、栗山に住まわなくても、栗山に関わってくれる人、まちづくりに関わってくれる人、そういう人をどんどん増やして、それがその先には、移住定住に繋がっていくっていう可能性もありますので、他方面からいろんな手を打っていかないとなかなか人口減に歯止めがかからないということもありますので、みんなで頑張っていきたいと思っています。

町長：国道234号線ですが、平成10年、20数年前からずっと、岩見沢から来て、栗山の入り口から旭台のところまでを四車線にする、そして、角田の市街地を今通っていますけれども、そこを通らないで、その手前から由仁の古川の方までバイパスを通すという、そんな要望をずっとしてきたのです。なかなか国の予算の関係で実現に向かっていなかったのですが、今回町民有志の方が、行政だけでそういう要望をしても難しいということで町を上げて要望していこうというような声が上がって、先日いろんな団体の代表の方に入ってもらって、栗山町国道234号線整備促進期成会というのが立ち上がりました。私が会長になっているのですが、これから町を上げて国に対して要請をしていくということで、11月15日に北海道開発局、11月末に東京の国土交通省の方にみんなで行くことになっているのです。ちょうど今そのきっかけができて、今年の北海道開発予算に、岩見沢の方から来ますと駅の方に曲がる交差点が1番最初にありますが、そのこの拡幅工事の調査設計費が開発予算につきました。来年以降にその交差点が少し広がる改良工事が行われるのです。そして、そういう交差点が町の中に7箇所あるのです。その交差点を1つつ拡幅していった最後に全部繋げて4車線にしようというのが、私どもと北海道開発局が擦り合わせしている要望戦略なのです。今そういった大きな国の事業が入ってくるのです。そこが拡幅されると、街の振興発展にとって相当な波及効果あるのです。例えば、工業団地を通りますから、道路がきちんと整備されると企業誘致の利点も出てきます

し、そして、さらに栗山公園のところが拡幅されるとなると、補償とかで施設を新しくできたりするのです。また、長年の夢である道の駅も可能性としては出てくると、いろんな波及効果を及ぼす、そういう事業展開が少しずつではありますけれど、今始まろうとしていますので、皆さん楽しみにしていただければなと思います。

#### 【その他（情報提供）】

町長：懸案となっております旧継立中学校の跡地について、やっと活用される業者が出てきて、まだ、正式決定ではないですけれども、大阪の企業です。グラウンドと校舎を一体的に活用していただいてキャンプ場とか、シェアオフィスだとか校舎も活用していただける業者が出てまいりまして、地域の理解もいただいているということで、これから地域説明などをしながら、12月には議会の議決という手続きもいるのですけれども、そのような運びになりました。あそこは南部地域の拠点なので、場所的にも、そういう集客できるような企業さんが入るということで、地域からも期待しているというようなご意見をいただいています。正式稼働は、来年の夏頃を予定している状況なものですから、この機会に皆さんにお話をさせていただきたいと思います。それと先ほど、農協のレンガ倉庫を使った栗山駅の南交流拠点施設の整備工事が始まったということをお話させていただきました。新聞に出たものですから、これまでも色々説明してきたのですけれど、あの施設に3億円かかると全体の都市再生整備計画は15億円かかるというのです。その金額が1人歩きしてしまっ、そんなにお金をかけて何をやるんだというような声が私の方にもチラチラ出てきているのですが、実際には、15億円かけてあの施設と周辺の道路整備であり、今までなかなか手をつけられなかったカルチャープラザの横の元町通りとか、これからやる栄町通りとか、いろいろ老朽化の激しい町道が9本あるのですけれど、その改修工事が15億円のうちのメイン事業なのです。9本で9億円ぐらいの道路整備工事となっています。通常9本を改良工事するといったら、20年ぐらいかかるのです。少しずつですから、国の予算の関係もあるので、ただし、今回の都市再生整備計画事業に載せたということで、それが5年でできるようなことになっています。そして、さらに拠点施設の整備も進めているということで、15億円のうち、国から6億円入ります。そして、残り9億円は先ほど申し上げた有利な起債を国から借りられるのです。そうすると15億円のうち町の実質負担は約3億ということになりますので、我々から言うと3億円で15億円の事業をやっているというようなイメージでございます。その3億円についても一遍に払えないものですから、1,500万円ずつ、20年かけて返していくような財政手法でやっていくということになりますので、先ほど申し上げました通り、あそこはこれから栗山の賑わい拠点になっていきます。あのDIY工房だとか、あとは、今、朝ドラでやっていますが、FMの発信基地にもなります。災害の発信拠点にもなるのですけれど、日常的には、いろんな情報が町民の皆様に電波を通じて、ラジオから聞こえてくるということになります。そういった情報発信の拠点にもなりますので、あの施設を成功に導きたいというふうにもみんなが今、頑張っているんです。旧岡島商店のところに職員と地域おこし協力隊と今、14、5人が入っていますから、そこにも勝負をかけているというようなことでもありますので、先ほど、申し上げました通り、あの施設によって栗山の駅前通り商店街の活性化にも、是非つなげていきたいというふうに思っていますので、旧岡島商店にみんないますので、声をかけてあげていただきたいなというふうに思いますし、また、施設がで

できれば、どんどん足を運んでいただければと思います。再来年の1月には完成しますので、よろしくお願ひしたいと思います。

町民：先ほど234号線ということでお話があったのですが、その時に公園という言葉が聞こえたのですが、その公園に対してどのようなビジョンを持っているのか。栗山町において、栗山公園というのは、主だった宣伝をしていないにも関わらず、家族連れがたくさんいらしてまして、構成的にも山があつて花々木々が素晴らしい、もともと学校があつて、裏山は学生たちにも素晴らしく、体力向上と心の精神的なよりどころとろんなものを提供していました。食べる場所もあり、販売所でも栗山町の農産物をとても安く販売したりと、とても評判が良く、動物園では子どもたちが直接餌を買ってあげられる。もしこれにもう少し教育的配慮があると、もっと子供達の情操教育に良い結果が出ると思います。町外からたくさん人が来る、しかも喜んでもらえる、そういう大事な場所だと思ひます。この国道234号線の充実とともにこの公園に対してこれからの計画とか、もしおありでしたら教えてください。

町長：栗山公園は、本当にすごい人気スポットであります。栗山一と言っても過言ではないかなというふうに思ひています。私も子供達の歓声が響く野球場があつて、SLがあつて、動物園があつて、そして、そのすぐ奥には、御大師山があつて、本当に素晴らしいゾーンなのではないかなというふうに思ひています。その中で先ほど国道234号線の4車線化のお話もさせていただきました。それでその道路整備が進んだ場合には、今の公園ゾーンは活かしつつ、新たに例えば道の駅だとか、公園の拡大整備をしていくと、まだまだ集客力が増してくるのかなというふうに思ひています。仮に道の駅ができると、いろんなところに道の駅がありますけれど、大体、止まって駐車でちょっと買い物して、またすぐ立ち去っていくというような道の駅が多いのです。そうではなくて、すごく特色のあるものになるのではないかなと思ひています。滞在的な道の駅です。そこに来て、山で遊んで、公園で遊んで、1日中入れるようなそういうゾーンに栗山公園にできるのではないかなと、他のところとの差別化ができるかなというふうに思ひています。ですから、道路整備によって、公園の今の機能が失われるということはありません。マイナスになる部分ではなくて、みんなで今、議論しているのは、そこをさらに魅力あるものにしていく利便性だとか優位性だとか、そういったものを高めていくようなそういう国道の整備にしていきたいなつて考えています。

町民：山としても88箇所の霊場を持っていますし、天皇陛下と皇后陛下もおいでになる貴重なオオムラサキの場でもありますし、あらゆるものを見て子どもたちの教育的、また、情操的にも本当にこんなに恵まれた、条件の揃ったところは他にないと思ひていました。だから、今、拡幅だとかで、総合的に道内でも本当に珍しい素晴らしい場に成長できると本当にありがたいです。あと、販売ということであれば、道の駅となると農作物、商店街も疲弊しております。何件残るかというSOSの状態です。人数的に、これから食の問題というふうになると、農業というのは本当に大事な命を守ることにつながります。また、英断で日赤病院が新しくなるということですのですごく期待しています。町民の健康を守るといふことは大事ですから、それと一緒に食を守るといふことも、その根底にあつて、とても大事なことだと思ひます。今回も大量の野菜がこの状態の中で、たくさん投棄されました。玉ねぎはたくさん燃やされたそうですし、いろんなものを活用できなくなつて、国外に持っていくかざるを得なかつたところや、すき込んだところたくさんあります。この間、もつ

たいないキッチンという映画もありましたけれども、本当にもったいないです。これをもし加工する技術があれば、味が中途半端で熟成していないとかと言っても、加工の仕方、調理の仕方です。素晴らしいものにどんどん変わっていきます。もし予算があるのであれば、そういう加工の場ということも考えていただければ、農家の方達も、これから孫にも息子たちにもちょっと広げてやっていこうかという勇気と元気、そのバックアップを町からもらえるのではないかと思います。そちらの方も合わせて、町の駅、道の駅と一緒に考えていただけるととても嬉しいです。

19 : 52 終了